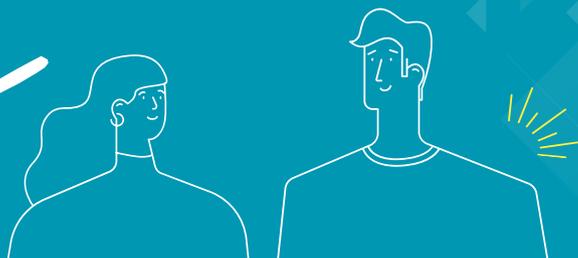


ホスピタル カフェ



2024年2月2日(金) 弘前大学保健学研究科において、弘前大学医学部附属病院の現役看護師と看護師を目指す学生とが参加しホスピタルカフェ(座談会)を開催しました。

本事業は、青森創生人財育成・定着推進協議会における地元定着の取組として、県外流出が著しい看護・医療系学生の県内定着が大きな課題となっている青森県の現状を踏まえて、県内病院の若手看護師スタッフと学生が交流し、学生が県内病院や就職後の働き方等を知ることを出発点に、インターンシップや就職に繋げていくことを目的として実施しています。

今年も会場の参加者とZOOM参加者を繋ぎ、座談会形式で実施しました。当日参加した学生からは、新人教育や夜勤など、たくさんの質問があり、会場は終始和やかな雰囲気での交流座談会となりました。

ここでは、当日の内容の一部をご紹介します。

ファシリテーター：本日お越しいただいている看護師さんのお話を聞きながら、学生の皆さんは就職に結びつくように、現役看護師さんにどんどん質問をしていただい

学生のうちにしておけば良かったことや、やっておいた方が良いことはありますか？

学生：実際社会人になってみて、学生のうちにしておけば良かったことや、やっておいた方が良いことはありますか？

看護師B：休みも作れるし、お金も学生の時よりはるし、今でもなんでもできます。笑



看護師を目指す学生と現役看護師との座談会

看護師の仕事や職場環境に理解を深めていただけたらと思います。

学生：同期との交流はどんなものがありますか？研修では他の部署の同期たちとも交流をして仲良くなることはありますか？

看護師A：飲み会もありますし、研修会でも一緒になることもあります。

看護師B：1年目はかなり研修が多いです

ね。研修の時は小さいグループにわかれて、グループは部署関係なく組むので話したことのない同期とかとも話すようになります。

意気投合してご飯に行くようになったり、その同期の同じ部署の人と仲良くなったり派生して仲良くなりますよ！

※青森創生人財育成・定着推進協議会
県内高等教育機関16校を構成員として地域の課題を解決できる人財の育成や地元定着を目指した取組を推進している。



看護師A：言葉遣いは大切なので、話し方とか社会人としての心構えみたいなのは、身に付けていた方がいいかもしれませんね。

学生：私は実際に大学病院でバイトをしているんですけど、ご高齢の方に丁寧に話していると、「堅苦しいからやめてほしい」みたいに言われたこともあって、その辺のバランスが難しいなって思いました。そういうのは経験で、人を見てわかってくるようになるものですか？

看護師A：そうですね。初対面の人は敬語で話した方がいいと思いますが、相手の反応をみて、言葉遣いを柔らかくしたり、話しているうちに深めていくようにした方がいいと思いますね。

学生：勤務されている部署内での先輩との付き合い方について、プライベートでもありますか？

看護師A：1年生であれば1つ上の先輩と仲良くなったりして、そこから少しずつ広がっていくと思います。

ファシリテーター：プリセプターさんとの交流はどうですか？

看護師A,B：プリセプターさんとの仲は、なんでも相談できるという精神的な支えの部分が大きいと思っています。自分もプリセプターをやったことがありますが、そうなれるようにと思ってやっていました。

ファシリテーター：プリセプターさんと勤務が一緒にならない時もありますよね？

看護師B：勤務が合わなかったとしても技術的なことは私がいなくても周りが教えてくれるので心配はしていませんが、気にかけていることが伝わるように意識して声はかけるようにしています。プリセプターの役職がついている人は一人いますけど、職場全体で、見守っていく感じなので、誰でも相談できる環境ではありますね。

看護師A：新人教育担当とプリセプターの人とが情報共有をしたりする時間もあるので、新人さんは心細い思いはしないかなと思います。